

第1学年 国語科学習指導案

学 級 1年3組 男子14名 女子13名 計27名
場 所 1年3組 教室
授業者 成田 香里

- 1 単元名 おきにいの本を見つけてかんそうをつたえよう
教材名 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」ハンス・ウィルヘルム（光村図書1年下）

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の「読むこと」の指導目標「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」と、読むことの指導事項「オ文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」を受けて設定された単元である。本単元では、「お気に入りの本を見つけて、心に残ったところと自分を結び付けた感想を伝える」という言語活動を設定する。

同系列の読むことの単元では、場面の様子や登場人物について想像を広げながら読むことができるよう「おおきなかぶ」の劇をする言語活動を行った。読書生活を広げたり深めたりすることにつながる学習としては、自分の選んだ昔話の好きなところを友だちに紹介する言語活動を体験してきている。

本教材「ずうっと、ずっと、大すきだよ」は、飼犬「エルフ」の死を通して主人公の「ぼく」が成長する物語である。動物をかわいがったりお世話をしたりした経験に多少の差はあっても、読み手として「ぼく」に共感を持ちやすく、自分の知識や経験と結び付けて感想を書く学習に適している教材である。

(2) 児童について

1年生は、入門期であるため、楽しい雰囲気の中で自由に発想したり想像したりすることができるよう学習を進めてきた。7月には、「おおきなかぶ」の劇をする言語活動を行い、言葉や挿絵などから人物の気持ちを想像し、台詞や動作を加えながら劇をすることで、物語を楽しんで読むことができた。「むかしばなしがいっぱい」では、お気に入りの昔話を紹介するカードを作り、それをもとに交流し合うという活動を行い、お話の世界に浸ることの楽しさも体験している。

本学級の児童は、進んで自分の考えを発表する児童が多いが、ペアやグループ等の少人数の交流であっても、自分の考えを表現できずにいる児童も一定数いる。読むことについては、様々な本に親しみ始めたところだが、登場人物の気持ちを捉えたり場面の様子を想像したりしながら読むことができる児童はまだ少なく、1冊を読み切ることができない児童もいる。また、お話の好きなところは選ぶことができて、根拠をもってその理由を話すことができる児童も少数である。

(3) 指導について

本単元では、学習のゴールとして、「お気に入りの本を見つけて、心に残ったところと自分を結び付けた感想を伝える」という言語活動を設定し、児童が主体的に作品を読み進め、読書の楽しさを体験していくことができるようになることをねらいとしている。

一次では、教師が作成したモデルを紹介し、お話の心に残ったところとその理由・自分の経験と結び付けた感想を発表するという単元のゴールの姿を具体的にイメージさせるとともに、本単元でどのような力を付けるのかをつかませる。

二次では、「ずうっと、ずっと、大すきだよ」を読み進め、心に残ったところとその理由、登場人物と自分を比べて読み、感想を書きまとめていく。その際には、感想を表す言葉や自分と比べる言葉を示し、それを参考にして自分が感じたことや考えたことを言葉で表現できるようにする。

三次では、自分が選んだお気に入りの本で、感想を書きまとめていく。出来上がった感想文は、友だちと読み合い、よいところを伝え合いたい。さらに、生活科の「遊びランド」で一緒に遊んだ幼稚園・保育園の年長児へ送ることとし、目的意識や相手意識をもたせて意欲を高めたい。

3 単元の目標と評価規準

観点	目標	観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・物語を読んで、互いの思いや感想を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしようとする。	国語への関心・意欲・態度	・物語を読んで心に残ったところや自分と比べて考えたことを、お互いに分かり合ったり認め合ったりしようとしている。
読むこと	・文章の内容と自分が既にもっている知識や経験、読書体験などを結び付けて、感想を表現することができる。(オ)	読む能力	・お気に入りの本の内容と、自分の体験を結び付けて、登場人物と自分を比べて感想を書いている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・言葉には気持ちを表す語など意味による語句のまとまりがあることを知り、本や文章を読んで感想を書く際に用いることができる。(イ(ウ))	言語についての知識・理解・技能	・言葉には、気持ちを表す語など、意味による語句のまとまりがあることを知り、お気に入りの本を読んで感想を書く際に用いている。

4 指導計画（11時間）

段階	時	本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準 観点【 】 方法（ ）
一次	1	① 単元のねらいと活動について知ることができる。 おきにいりの本を見つけてかんそうをつたえよう。	お気に入りの本を見つけてかんそうをかこう。 ・「お気に入りの本を見つけてかんそうをかこう」という単元のめあてを知り、見通しを立てる。 ・「ずうっと、ずっと、大すきだよ」の読み聞かせを聞く。	・物語の感想を書くことに興味をもち、単元の学習の見通しをもとうとしている。 【関・意・態】（観察・発言）
二次	6	② 教材文を音読し、内容の大体を捉えることができる。	おはなしをよんで、かくにんしよう。 ・教材文を読み、新出漢字や物語の大体を捉える。	・登場人物の行動を中心に、内容の大体を読んでいる。 【読オ】（発言・ワークシート）
		③ 教材文を読み、心に残ったところに印を付けることができる。	おはなしをよんで、こころのこころをさがそう。 ・心に残った行動や会話文を探して、教科書に印を付けていく。	・登場人物の行動や会話文を根拠に、心に残ったことを見つけている。 【読オ】（発言・ワークシート）
		④ 教材文を読み、心に残ったところを交流しながら、その場面や登場人物の様子を想像することができる。	おはなしをよんで、こころのこったところをこうりゅうしよう。 ・心に残ったところを交流しながら、話の展開や場面の様子、「ぼく」の心情について、全体で確認していく。	・場面の様子や登場人物の気持ちについて想像している 【読オ】（発言・ワークシート）
		⑤ 教材文を読み、一番心に残ったところを選び、理由を書きまとめることができる。	おはなしをよんで、こころのこったところとそのわけを書きまとめよう。 ・登場人物の行動や会話文の中から、一番心に残ったところを選び、理由を書きまとめる。	・心に残ったところを選び、その理由を考えている。 【読オ】（発言・ワークシート）
		⑥ 教材文を読み、心に残ったところと自分を結び付けて感想を書きまとめることができる。	じぶんとむすびつけてかんそうをかきまとめよう。 ・心に残ったところと自分とを結び付けて、自分と似ているところ・違うところという視点で感想をワークシートに書きまとめる。	・心に残ったところと自分を結び付けて、似ているところや違うところを書きまとめている。 【読オ】（ワークシート） ・言葉には、気持ちを表す語など、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。 【言イ(ウ)】（ワークシート）

		⑦ 友だちが書いた感想を読み合い、よいところに気付くことができる。	かんそうを、ともだちとこうりゅうしよう。 ・友だちの感想を読み、感じ方や考え方の良さなどを交流し合う。	・友だちの感想のよいところを見つけながら感想を読んでいる。 【読オ】(観察・発言・振り返りシート)
三次	4	⑧ お気に入りの本の内 ⑨ 容の大体を捉え、心に残ったところとその理由を書きまとめることができる。	お気に入りの本をよみ、こころにのこるところとそのわけをかこう。 ・お気に入りの一冊を選び、話の内容の大体を確認し、心に残ったところとその理由を書きまとめる。	・お気に入りの本の内容の大体を読み取り、心に残った叙述とその理由を書きまとめている。 【読オ】(ワークシート)
		⑩ お気に入りの本の、一番心に残ったところと自分を結び付けて、感想を書きまとめることができる。【本時】	お気に入りの本をよみ、じぶんとむすびつけてかんそうをかきまとめよう。 ・お気に入りの本の心に残ったところと自分を結び付けて、自分と似ているところや違うところという視点で感想を書きまとめる。	・心に残ったところと自分を結び付けて、似ているところや違うところを書きまとめている。 【読オ】(ワークシート)
		⑪ 友だちが書いた感想を読み合い、感じ方や考え方の良さに気付くことができる。 単元のまとめをすることができる。	お気に入りの本のかんそうを、ともだちとこうりゅうしよう。 ・友だちの感想を読み、感じ方や考え方の良さなどを交流し合う。 ・単元を振り返る。 ・お気に入りの本の感想を幼稚園や保育園の年長児に送付する。	・友だちの感じ方や考えを認め合いながら感想を読んでいる。 【読オ】(観察・発言・振り返りシート) ・学習を振り返り、よく出来たところや難しかったところを確かめようとしている。 【関・意・態】(振り返りシート)

5 本時の指導 (10 / 11)

(1) 目標

お気に入りの本の、一番心に残ったところと自分を結び付けて、感想を書きまとめることができる。

(2) 評価と支援

評価の観点・評価規準	期待する児童の記述例	努力を要する児童への支援
【読む能力 オ】 心に残ったところと自分を結び付けて、似ているところや違うところを書きまとめている。	【どろんこハリー例文】 わたしも、かみをあらうのがいやで、おかあさんからにげだしたことがあります。	自分だったら「こうする」「こう言う」「こう思う」という視点でインタビューし、自分と結び付けさせる。また、書き出しの文も指示して、感想の言葉の提示をした上でその先の感想をまとめさせる。

(3) 研究とのかかわり

【手立て1】学び合いを深める工夫

・実際の体験だけでなく知識や読書体験と結び付けたモデルを提示し、感想の書き方を比較させ、想像を広げたり理解を深めたりさせる。

【手立て2】表現する力を高める工夫

・どんなところがどのように好きなのか、自分と比べてどう感じたのか、児童が思いにぴったり合う言葉を選べるように、感想の言葉をまとめて掲示する。

- やさしい ○うきうきする ○げんきがでてる ○ゆかいなきぶん ○なみだがでそうになる ○わくわくする
○すてき ○おきにいい ○きもちがよくなる ○たいせつだ ○にこにこえがおになる ○心がすっきりする
○ふしぎだ ○びっくりする ○どきどきする ○じいんとする ○心があたたかくなる ○心がぼかぼかする
○かわいそう ○さびしい ○がっかりする ○こわい ○はっとする ○ひやひやする

・児童が自分の体験と結び付けて、思ったことを具体的に書きまとめることができるように、以下のような書き出しの例をワークシートに提示する。

- わたしもおなじで～ ○わたしの～も ○もしわたしがだったら～ ○わたしも～できたらいい ○わたしもまえに～
○わたしとくらべると ○わたしの～とにいて ○わたしも～やってみたい ○わたしとちがって

(4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・指導上の留意点<>評価 ○研究内容との関わり
とらえる 10分	<p>1 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お気に入りの本をよみ、じぶんとむすびつけて、かんそうをかきまとめよう。</p> </div> <p>2 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心に残ったところと自分と比べた感想を書きまとめることを確認する。 (同じところ・違うところ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書きまとめた、心に残ったところとその理由に関連させて、自分と比べて感想を書くことを確認する。
たしかめる 30分	<p>3 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心に残ったところを自分の経験と結び付けることができるよう、ペアでインタビューし合う。 ・自分と同じところ、または違うところという視点で、ワークシートに書きまとめる。 <p>4 学び合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書きまとめたことをペアで発表し合う。 ・友だちの発表を聞き、良かったところやおもしろかったことを全体で交流する。 ・自分と比べて感想を書くときには、実際の体験だけでなく、聞いたり読んだりしたことと比べてみる方法もあることに気付く。 <p>5 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアや全体で交流したことを踏まえて、感想を書きまとめる。 ・書きまとめたものを紹介する。 <p><評価Bの文例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【どろんこハリーの例文】</p> <p>わたしも、かみをあらうのがいやで、おかあさんからにげだしたことがあります。</p> </div>	<p>【インタビュー内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じことをしたことがありますか。 ・どうして～をしたのですか。 ・どこが似ていますか。 ・どこが違いますか。 ・登場人物に言ってあげたいことはありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・同じことや違うことだけでなく、登場人物の気持ちも書いています。 ・どうして自分と同じなのか、そのときの気持ちも書いています。 ・私はハリーが白く戻ったところが好きだったけど、○○さんにはげたところを感想に書いておもしろいと思いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちも感想に書いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューし合うことで、自分の考えを確かなものにさせる。 <p>○自分の経験と結び付けて、思ったことを具体的に書きまとめることができるよう、書き出しの例をワークシートに提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの感想を聞いて、良かったところの感想を言わせる。 ・友だちが話したことを繰り返させ、なるほどと思ったところやおもしろかったところを交流させる。 <p>○実際の体験だけでなく、知識や読書体験と結び付けたモデルを提示し、感想の書き方を比較させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付け足したいことや、書き換えたいことがある児童は、直してもよいこととする。 <p><評価規準></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>心に残ったところと自分の経験とを結び付けて、似ているところや違うところの感想を書きまとめている。【読オ】(ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・B評価に達している児童には、登場人物の気持ちも書き加えさせる。 ・感想を書きまとめることができた児童数名に発表させる。
まとめる 5分	<p>6 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったこと、友だちのよかったところを観点として、振り返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、自分と比べた感想を書くことができた。 ・○○さんのように、登場人物の気持ちを想像して感想に書いていいることがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日までの感想と、今日書きまとめた感想では、何が違っているか考えさせる。 ・振り返りシートを使用し、学習したことを振り返らせる。

